

学習に集中できない生徒への支援事例

キーワード： **グループ活動を取り入れた学習支援**

授業への集中を導く指導の工夫

この事例解説では、学級におけるグループでの活動を取り入れた学習支援に焦点をあててまとめました。

実践の概要

中学 1 年生の G 男はおとなしく、知的能力に比べ、中学校 1 年生の学習内容にほとんどついていけず、授業にはボーと参加し集中できない状態であった。

小学校中学年程度までの漢字の読み書きはできるが、作文などの文章表現は苦手になっている。九九は唱えられるが、小数や分数の計算は理解されていないところが見受けられた。

しかし、G 男は教師の話には素直に反応し、ひとつひとつの指示に対しては、時間はかかるが取り組むことができる生徒である。

また、学級の清掃や給食の当番や、環境美化の係活動には同じ生活班の人と一緒に取り組んでいる。

係活動では自分の方から声をかけることは少ないが、周りから声をかけられると嫌がらずに協力して取り組んでいた。

一方、両親は G 男の学習に対してはあまり関心が無く、あきらめ気味であった。

対応の概要

1 学級担任による対応

G 男は同じ学級の生活班の生徒と環境美化の係活動と一緒に取り組んでいる。そこで、学級担任は G 男と一緒に、2 週間毎日、昼休み時間に学級の掲示物を貼り替える係の仕事を行うことにした。

この活動をとおして、G 男と学級担任との人間関係をさらに深めていくことにした。

2 教科担任による対応

学級担任と学年長は、国語、数学、英語の教科担任に対して、G 男が少しでも授業に集中するように、それぞれの授業中に板書され

た内容のうち、この部分だけは必ず授業ノートをとる（ノートに視写する）という約束を教科担任と G 男とで行うことをお願いした。

3 グループ活動を取り入れた係活動

学級担任と G 男とによる昼休みの係活動は、やがて、学級担任の指導の下、G 男と同じ生活班の班長や副班長をとおして G 男を含む班員に対して係の仕事分担を行わせ、班員が協力して取り組むようにさせた。

4 グループ活動を取り入れた学習支援

授業ノートの取組

教科担任との約束による授業ノートをとるという取組がなされているかどうかの点検を 2 週間後からは同じ生活班の班長と副班長に見てもらうことにし、さらに 2 週間続けることにした。

取組活動の報告

班長、副班長は、教科担任との約束による授業ノートをとるという G 男の取組状況を学級担任に報告してもらうことにした。

その際、班長、副班長は、G 男の取組状況を認めるシールを学級担任から受け取り G 男の授業ノートに貼ることにした。



授業に集中させる取組 （グループ活動を取り入れた学習支援）

学級での生活班を活用し、グループ活動を取り入れた学習支援をとおして、授業に集中させる取組の視点とその内容についてまとめました。

グループ活動を取り入れた学習支援 1

生徒の係活動を生かした取組にしたのはなぜでしょうか？

- 生活班のグループ活動に結びつける -

G男は同じ生活班の生徒と係活動に協力して取り組んでいた。さらに、学級担任はG男と一緒に、昼休み時間を活用し学級や学級前廊下の掲示物を貼り替える係活動を行い、G男との人間関係を深めていくことに努めていた。

これらのG男の係活動の取組を生かし、学級担任の指導の下、G男と同じ生活班の班員が係活動の仕事を分担し協力し合い責任をもって係活動に取り組むようにさせた。

このような係活動を基にした生活班のグループ活動をとおして、日常的にG男を支援する班員とG男との人間関係づくりに努めた。

グループ活動を取り入れた学習支援 2

生活班のグループ活動を取り入れた学習支援で留意した点はどんなことでしょうか？

- 授業内容と結びつけた学習支援を -

教科担任の協力を得て、学校生活の大部分を占める授業時間の学習にG男を少しでも集中させることを第一に考えた。

G男と教科担任との約束に基づいた授業ノートをとる取組がなされるように、班員がG男を励まし促す言葉をかける環境を、G男の身近な生活場面に位置づけ、同じ生活班のグループ活動に取り入れることにした。

グループ活動を取り入れた学習支援 3

授業ノートの取組状況の点検をグループ活動としたのはなぜでしょうか？

- 日常生活のなかに位置づけた取組を -

G男は、当面、国語、数学、英語の3教科の授業の板書内容をノートにとる取組でスタートした。

そして、3教科の教科担任には、この取組が約束どおり行われているかどうかを見て（点検して）もらい、G男本人に対する評価と励ましの言葉を2週間かけてもらうことをお願いした。

その2週間の間に、教科担任のG男への働きかけや言葉かけを同じ生活班の班長、副班長を中心とした班員に引き継ぎ、学級生活の中のグループ活動で行われるようにつなげた。

これは、係活動をとおしたG男と班員との人間関係の深まりを生かしながら、G男への学習支援を普段の日常生活に位置づけたいと考えたためである。

そして、国語、数学、英語の3教科以外の教科等でも、授業ノートをとるなどのG男の学習への参加意欲を引き出す班員からの言葉かけを期待してのものであった。

グループ活動を取り入れた学習支援 4

日常の学習活動にグループ活動による学習支援を位置づけたのはなぜでしょうか？

- 生徒同士の教え合い学習につなげたい -

同じ生活班の係活動と、G男の授業ノートをとる取組をとおして、日常生活の中で、G男の他の学習活動に対する班員からの励ましや促しも見られるようになった。

このようなG男の取組を認める班員からの言葉かけなどのグループ活動による学習支援が少しずつなされるようになってきた。

さらに、授業ノートをとるG男の取組状況を認めるシールを学級担任から受け取り、G男の授業ノートにていねいに貼る際には、班長、副班長からもG男に対して、必ずあたたかな励ましの言葉をかけることを学級担任はお願いした。

これらの取組をとおして、G男の他の学習活動に対しても、同じ生活班の班員から関心が示され、G男の学習への参加意欲を導き出す班内での会話が少しずつ見られるようになってきた。

これらから、G男に対する生徒同士の教え合い学習につなげたいと考えた。

グループ活動を取り入れた学習支援 5

授業ノートの取組を家庭学習につなげることはできないでしょうか？

- 父母との協力や連携を考える -

この授業ノートの取組を家庭学習につなげようと、G男が授業でノートにとれなかった板書部分を班員のノートを借りて家庭で視写してることにつなげようとしているが、まだうまくいっていない。

これまでのG男の学校での取組の頑張りや成長した点を父母に伝えながら、今後、協力や連携が図られるようにしていきたい。